

○令和2年度第1回鹿行地域 GAP 研修会が行われました

8月19日(水)に銚田合同庁舎にて「令和2年度第1回鹿行地域 GAP 研修会」を農家、JA等関係者31名が出席し、開催しました。

NPO 法人農業支援センターの磯部ゆかり氏を講師にお招きし、「GAP の実践と実践例」について講演をいただきました。

GAPに取り組むことの意味や具体的な取組、GAPに取り組む際の注意点について、理解を深めることができました。

今後とも、鹿行農林事務所は、GAPの取組みを支援してまいります。

※GAP (Good Agricultural Practice) とは、農作業の点検や記録・確認を行って食品を安全に供給する仕組みのことです。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを保った机の配置、いばらきアマビエちゃんの利用促進を行いました。

